

日本共産党 品川区議会議員
 Japanese Communist Party 2024年7月28日
区政報告 No. 377

公式ライン
アカウント

安藤たい作
ニュース

LINE X

バックナンバー **品川 安藤たい作ニュース** 検索

事務所 西品川3-16-3 Tel/FAX 3491-3230



翌日が大井町で低空飛行体験会
 こういう時だけは思わず祈る

漫画：安藤たい作

羽田新ルートの中止・撤回を実現させよう

23区議会議員交流会を開催



集合写真。「アンディーを探せ」??

7月18日、「羽田問題議員連盟しながわ」の呼びかけで、羽田新ルートに問題意識を持つ23区の現・前・元区議を対象にした交流会を開催。大井町・きゅりあん大会議室には、11区から43人の議員関係者（共産、立憲、ネット、れいわ、参政、無所属）、オブザーバー参加の住民15人が集い、経験交流・意見交換を行いました。



品川議連を代表して報告するのだて区議（共産）

交流会の開始前には、ヤマダ電機前にて実際に低空飛行の体験会も。「飛行機のお腹が見え、轟音に恐怖を感じた」（足立）、「慣れていくつもりだったがすごく低いなど驚いた」（江戸川）などの声があがりました。

司会は無所属の西本区議が務め、はじめに共産・のだて区議が品川区議会の動きや羽田議連の活動、住民投票を求め法定数の3倍の署名を集めた直

品川議連を代表して報告するのだて区議（共産）

「直下からはTVが聞こえないとの声。車輪を降ろすところが中野、渋谷（中野）」

「都心ルート見直しの意見書を出したら、逆に与党から推進の意見書が出された。討論もしたが可決されてしまった」（練馬）

「品川に習いアンケート実施を求めたら『生活への影響はないと判断しているので実施しない』と区に答弁された」（江東）

「町会長の半数の賛同で意見書を可決。近所の翻訳家が60万円かけ二重窓にしたがそれでも仕事に影響があり越した」（新宿）

被害の実態、議会や当局との論戦の様子、住民運動との連携などが交流され、発言の随所から、こうした横の交流会が待たれてきたことを実感しました。

行動提起では、今後の経験・情報交流へライングループも立ち上げ。直近の合同街頭宣伝（8月29日（木）午後5時〜大井町ヨード）の呼びかけがされました。

交流会の開始前には、ヤマダ電機前にて実際に低空飛行の体験会も。「飛行機のお腹が見え、轟音に恐怖を感じた」（足立）、「慣れていくつもりだったがすごく低いなど驚いた」（江戸川）などの声があがりました。

司会は無所属の西本区議が務め、はじめに共産・のだて区議が品川区議会の動きや羽田議連の活動、住民投票を求め法定数の3倍の署名を集めた直

交流会の開始前には、ヤマダ電機前にて実際に低空飛行の体験会も。「飛行機のお腹が見え、轟音に恐怖を感じた」（足立）、「慣れていくつもりだったがすごく低いなど驚いた」（江戸川）などの声があがりました。

司会は無所属の西本区議が務め、はじめに共産・のだて区議が品川区議会の動きや羽田議連の活動、住民投票を求め法定数の3倍の署名を集めた直



大反響だった低空飛行体験会。

異常な暑さ！ 避暑シェルターをご存じですか？



区HPより

目的: 外出の際などに暑さを一時的にしのご休憩スペース

開設場所: 品川区内の地域センター・文化センター・児童センター・シルバーセンター・いきいきセンター・ゆうゆうプラザ・保健センターなど公共施設61カ所。今年度から、薬局30カ所と城南信用金庫でも開設。

目印: 玄関の「避暑シェルターで 涼しさ ひととき」と書かれたのぼり旗(右上写真)

開設期間: 9月30日(月)まで

しかし、避暑シェルターだけでは熱中症から区民を守ることはできないことは明らかです。日本共産党は夏を控えた6月13日、区長宛に「熱中症から命を守る対策についての申し入れ」を行いました。

申し入れでは「令和4年度熱中症で亡くなられた方は251人、うち65歳以上の高齢者が84%を占めています。屋内死亡者232人のエアコン使用状況を見ると、設置無しが50人・21.6%を占め、設置している人で使用有りはわずか19人・8.2%に過ぎず、設置しながら使用無しが137人・59%にのぼります。この数字は、熱中症による死亡の最も大きな原因が、エアコンが設置されていない、設置されていても電気代が高く使えない、また予防法の理解不足による適正なエアコン使用がされないことを示しています。この実態を踏まえた対策が必要です。」と問題意識を述べた上で、避暑シェルターの環境改善も含めた以下の内容を申し入れました。

熱中症から命を守る対策についての申し入れ



- ①区として、生活保護受給者や低所得者が安心してエアコンを使用できるよう、電気代の助成を行うこと。
- ②生活保護受給者や低所得者が省エネエアコンを自己負担なく購入・設置できるよう、助成を行うこと。
- ③区が設置している避暑シェルターは、長時間快適に過ごすことができるよう環境の整備を行うこと。また、水分補給のための経口補水液なども配備すること。
- ④熱中症対策として、高齢者クラブ等地域ごとに熱中症に対する講座を行い知識の普及、予防対策の啓発を行うこと。また、熱中症弱者の把握や安否確認、見守り体制の仕組みについて検討すること。
- ⑤高齢者や乳幼児、難病患者や障害者など熱中症弱者が、数値で気づき対策がとれるよう、希望者に熱中症アラーム付き温度・湿度計を配布すること。

日本共産党品川区議団

第三火曜18:30~20:30は弁護士を迎えての**無料法律相談会**

8月は**8/27(火)** * 今月は第4火曜になりますのでご注意ください

【会場】安藤たい作事務所(西品川3-16-3・右地図) 【主催】共産党品川地区委員会

* 予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず



安藤 たい作(あんどう たいさく)プロフィール

1974年宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学に在学中に共産党に入党。漫画家を志し98年上京。ハケンで働きながら02年コミック誌奨励賞受賞。06年~品川区議会議員。5期目。文教委員会。党区議団幹事長。家族・妻、二女。好きなもの:麺類、少年ジャンプ。

